



# ほけんだより 5月号



2023年度

NO.2

聖星保育園

満開だった桜が、まぶしい緑にかわりました。新しい年度がスタートして1ヶ月、新しい環境、クラスに慣れるのに疲れもあるのか、4月中旬頃から体調を崩すお子さまも増えてきました。暑かったり肌寒かったりの気温差や、進級してからの疲れもでてきているのかもしれませんが。お休みの日は遊ぶ時間はたくさん遊び、そして身体を休める時間もしっかり作りましょう。

## 新型コロナウイルス感染症について

5月8日から2類相当から5類に変更になります。保育園における対応については、まだ市から保育園の対応についての連絡がきていないので、しばらくお待ちください。お待たせしてしまい申し訳ありません。

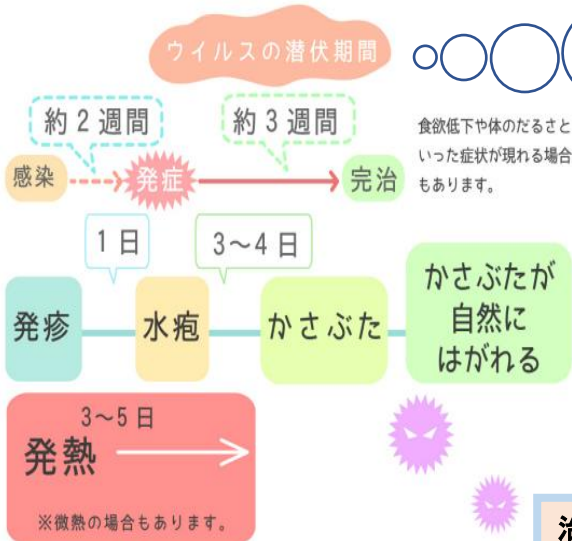
### ☆登園を控える目安(発熱 Ver.)

- ☆ 24時間以内に38.0℃以上の熱がでた場合や、24時間以内に解熱剤を使用している場合。
- ☆ 朝から37.5℃を超えた熱があることに加えて、元気がなく機嫌が悪い、食欲がなく朝食・水分が摂れていないなど全身状態が不良である場合。

### △具体例として

- △ 前日、熱を測った時に38℃以上の熱があった
- △ 前日に解熱剤を使っている
- △ 朝、熱を測ったら37.5℃で普段と比べて機嫌が悪く朝食を食べない、ミルクが飲めない
- △ 38℃の発熱に関わらず、顔色が悪く苦しそうな場合

## 水ぼうそう(水痘)



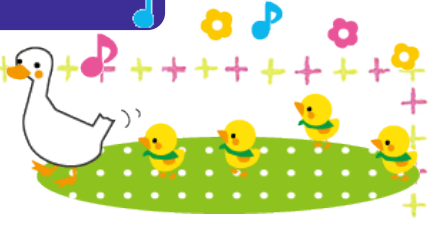
最初は赤い発疹で真ん中がポチッと膨らんでいます。赤い斑点だけの時もあります。数時間で増えますが、発疹の数は個人差があり数個の場合も。潜伏期が長く、感染力が強いのが特徴です。予防接種をしていても、移る可能性があります。



水疱が全てかさぶたになるまで登園できません。

治ったときは医師記入の「意見書」の提出が必要です。受け入れの際に必ず手渡しをお願いします。

# 成長とともに声掛けの工夫をしてみよう！



## 子どもへの声かけ

### 0歳～ 行動の前には必ず声をかける

急いでいるときにも無言は禁物。「〇〇ちゃん、おむつ替えようね」など、名前を呼んで次にする行動を説明しましょう。

### 1～2歳 気持ちに共感する

「うれしいね」「悲しいね」など、子どもの思いを言葉にしていけることを繰り返す中で子どもは大人への信頼感を深め、また言葉を覚えていきます。

### 2～3歳

#### プラスの言葉で

「上ってはダメ」ではなく「下りようね」と、肯定的な言葉をかけましょう。「ダメ」と言われ続けると、主体的な行動ができなくなってしまいます。



### 2～3歳

#### 子どもに考えさせる

「こういうときはどうするんだっけ?」「どうすればいいと思う?」など、子どもに考えさせるような言葉も効果的です。

どちらも、保育園の生活のなかで保育者がよく使う言葉がけです。親が疲れていると、強い口調で従わせようとしてしまいます。子どもがそれに慣れてしまうと何も伝わりません。強い口調は大きなけがにつながる時や本当に危ない時のためにとっておきましょう。コツは「子どもより一枚上手になる」です。子どもと同じ視線になりすぎると「売り言葉に買い言葉」でイライラしてしまうので、平常心を保ち会話を楽しめる対応上手を目指しましょう。

## 子どもへの声かけ



### 具体的に話す

「〇〇しなきゃダメ」ではなく、「〇〇だからこうしてね」とその理由を説明。「早くして」ではなく、「いつまでに」を伝えます。



### 子どもを褒める

「〇〇してくれてありがとう」「〇〇ができてすごいね」と、その場で具体的に褒めたり、感謝の言葉を伝えたりします。

### 期待をふくらませる

出かける前にトイレなどの用事をすませてほしいときは、次の行動を楽しく説明し、「そのためには……」と今やってほしいことを伝えます。

### 気持ちを代弁する

けんかで感情が高ぶって泣いているときなどは、「こうしかったんだよね」など、その気持ちに寄り添い、代弁します。

### 提案する

「こうしなさい」「やめなさい」ではなく、「こうしたらどう?」「こうしてみようか」「こういう方法もあるよ」と提案します。